

SEASON OF CREATION 2026

Living Water



"Where the river flows, everything will live"

「この川が流れる所では、すべてのものが生きる」

(Ezekiel 47:9b エゼキエル47:9B)



「**Season of Creation**（被造物の季節）」とは、毎年9月1日から10月4日まで世界中のキリスト教会が共に祈り、地球環境の保護や、人類にとって「共通の家」である地球のケアについて考え、行動する期間です。今年のテーマは「**Living Water**（いのちの水）」です。

この季節の始まりは、1989年に正教会が9月1日を「被造物のための祈りの日」と定めたことにさかのぼります。2008年にはプロテスタントの世界教会協議会がこれに加わり、続いて2012年に聖公会、2015年にはカトリック教会が参加しました。この期間は、エコロジーの聖人であるアッシジのフランチェスコの祝日である10月4日に終わります。

関西学院では、神の創造物と、その中で人間が果たすべき役割についても大切に考えています。

これは、環境問題と社会問題がどのように結びついているかを考え、気候変動、生物多様性の保全、貧困、不平等、そして資源の利用といったテーマについて深く考える機会となります。

また、関西学院では複数のキャンパスにおいて、屋根面から集水した比較的きれいな雨水をフィルター（SUSメッシュ）でろ過した後、雨水貯留槽に溜めてトイレ洗浄水として利用し、上水の節水を図っています。雨水貯留槽は災害時の緊急用水としても利用できます。



KWANSEI GAKUIN



IMMERSION IN LIVING WATER
Ezekiel 47:9, 12

Living Water
Season of Creation 2026



←詳細はこちら
Scan here for
information in English.

